

【第26回3級（管理業務）実技試験】

（はじめに）

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2016年9月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

1 ベンチャーの文房具メーカーX社の技術者甲は、平成29年2月1日に発明Aを完成し、X社は、平成29年2月20日午前10時に発明Aについて特許出願Pをした。その後、X社の総務部の部員乙は、調査及びヒアリングの結果、次の事実1～3を確認した。

事実1 平成29年2月10日に韓国で発行された雑誌であるが、わが国においては一般に流通していない雑誌に、韓国の文具メーカーY社の丙によりなされた発明として、発明Aと同一の発明が韓国語で記載されていた。

事実2 平成29年2月15日に開かれた国内の展示会において、一般入場者の前で、甲が発明Aについて資料を配付して説明していた。

事実3 平成29年2月20日午後3時に、文具メーカーZ社の丁によりなされた発明として、発明Aと同一の発明が国内のテレビ放送において紹介されていたことが判明した。

以上を前提として、問1～問6に答えなさい。

問1

事実1に基づいて、特許出願Pに拒絶理由がないと考えられる場合は「○」を、拒絶理由があると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、拒絶理由がない又は拒絶理由があると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問3

事実2に基づいて、特許出願Pに拒絶理由がないと考えられる場合は「○」を、拒絶理由があると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、拒絶理由がない又は拒絶理由があると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第26回3級（管理業務）実技試験】

問5

事実3に基づいて、特許出願Pに拒絶理由がないと考えられる場合は「○」を、拒絶理由があると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、拒絶理由がない又は拒絶理由があると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群I】

- ア 特許出願Pに係る発明Aは、新規性を喪失していないため
- イ 特許出願Pに係る発明Aは、先願の地位を有するため
- ウ 特許出願Pに係る発明Aは、新規性を喪失しているため
- エ 特許出願Pに係る発明Aは、先願の地位を有しないため

【第26回3級（管理業務）実技試験】

2 ある大学生は、コンテンツの利用方法について発言1～3をしている。

発言1 「コンテンツAは、3人の画家がお互いにアイデアを出しながら協力して創作した絵画です。他人がこのコンテンツAを撮影してブログにアップロードするためには、その3人の画家の許諾が必要です。」

発言2 「コンテンツBは、日本の郷土料理の特徴をまとめた資料です。東北地方は甲が、九州地方は乙が、その他の地方は丙が執筆し、丁が見やすく工夫して編集しました。コンテンツBをフランス語に翻訳するためには、甲、乙、丙の許諾は必要ですが、丁の許諾は不要です。」

発言3 「コンテンツCは、人気作曲家戊が作曲した演歌調の楽曲を、人気作曲家己がポップ調に編曲した楽曲です。他人がコンテンツCを演奏するためには、己だけでなく戊の許諾も必要です。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問11

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問12

問11において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第26回3級（管理業務）実技試験】

【理由群Ⅱ】

- ア 二次的著作物にあたるため
- イ 編集著作物にあたるため
- ウ 共同著作物にあたるため
- エ 著作物にあたらなため

【第26回3級（管理業務）実技試験】

3 問13～問26に答えなさい。

問13

電機メーカーX社において、特許協力条約（PCT）に基づく国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「国際出願した後、所定の期間内に、国際調査機関に対して国際調査を行うことを請求する必要があります。」
- イ 「国際出願した後、出願人が国内移行手続を行わなくても、各指定国で審査が開始されます。」
- ウ 「国際出願した後、優先日から18カ月経過する前であっても、国際公開が行われることがあります。」

問14

X社は、らせん形状であるテープカッターについて意匠権Dを有している。ア～ウを比較して、X社の意匠権Dを侵害する行為として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。但し、らせん形状を形態Aとし、形態Aと形態Bは類似する形態であり、テープカッターとメジャーは類似する物品であり、テープカッターとチョコレートは類似しない物品であるとする。

- ア Y社が形態Bと同一形状のテープカッターを輸出する行為
- イ Z社が形態Aと同一形状のチョコレートを販売する行為
- ウ W社が形態Bと同一形状のメジャーを製造する行為

問15

甲と乙とが共同で作曲した曲Aが2009年10月11日に完成し、2009年12月1日に実名で公表した。その後、甲は2014年2月14日に死亡し、乙は2016年5月31日に死亡した。ア～ウを比較して、曲Aの著作権の存続期間が満了する時期として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 2059年12月31日
- イ 2064年12月31日
- ウ 2066年12月31日

【第26回3級（管理業務）実技試験】

問16

自動車メーカーX社において、平成27年11月25日に日本で特許出願Pをした発明について、外国での特許出願Qを検討している。ア～ウを比較して、平成28年10月14日にしたX社の知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「パリ条約の優先期間の終了直前ですので、各国毎の出願書類が必要となるパリルートではなく、日本語で出願できる特許協力条約（PCT）による国際出願が適切であると考えます。特許協力条約（PCT）であれば各指定国への翻訳文等の書面の提出は、国際調査報告を受領し検討した後であってもできます。」
- イ 「特許出願Pは、早期公開を請求して既に日本で出願公開されていますが、特許出願Pに基づいてパリ条約上の優先権を主張して外国に特許出願Qをしても、当該出願公開を理由に新規性を有しない発明として拒絶理由通知を受けることはありません。」
- ウ 「特許出願Pについては、出願審査請求をして既に拒絶理由通知を受けています。従って、わが国の特許庁で審査が開始された特許出願Pに基づいて、パリ条約上の優先権を主張して外国に特許出願Qをすることはできません。」

問17

洋菓子メーカーX社では、ホームページの作成を企画検討している。ア～ウを比較して、X社の従業員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「ホームページ制作会社と著作権の取扱いについて契約せずにホームページの作成を依頼すると、ホームページの著作者はホームページ制作会社になるから、わが社の従業員はホームページを自由に更新できません。」
- イ 「ホームページ制作会社に著作者人格権と著作権の譲渡を約束させた上で、業務委託してホームページの作成を依頼すれば、わが社の従業員はホームページを自由に更新できます。」
- ウ 「ホームページの作成が得意な従業員が職務としてホームページを作成すれば、そのホームページの著作者はわが社になるから、わが社の従業員はホームページを自由に更新できます。」

【第26回3級（管理業務）実技試験】

問18

文房具メーカーX社では、サインペンのデザインaについて意匠権A、及びそのサインペンの商品名bについて指定商品をサインペンとする商標権Bを有している。ア～ウを比較して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。但し、サインペンと万年筆は類似する物品又は商品とする。

- ア X社が、デザインaに類似するデザインcのサインペンCを製造販売する行為は、意匠権Aに係る登録意匠に類似する意匠の実施として認められる。
- イ X社が、サインペンとセットで使用する万年筆Dに商品名bを付して製造販売する行為は、商標権Bに係る登録商標の使用として認められる。
- ウ X社と競合するY社が、デザインaに類似するデザインeの万年筆Eを製造販売する行為は、意匠権Aの侵害となる。

問19

ア～ウを比較して、特許法上の保護対象として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 計算処理を効率的に行うための特殊なコンピュータ言語
- イ 自然界に存在する岩石から人為的に抽出した化学物質
- ウ 重い荷物を積載しても転ばない自転車の運転方法

問20

家電メーカーX社は、新商品としてホットプレートを開発し、この新商品の商品名を検討している。商品名として、営業部から名称A、名称Bが提案された。ア～ウを比較して、商標登録出願の依頼を受けたX社の知的財産部の部員甲の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。但し、名称Aと名称Bは、類似するものとする。

- ア 「名称Aと名称Bとは類似するので、商標登録を受けるためには、同日に商標登録出願をしなければなりません。」
- イ 「名称Aについては、ホットプレートに類似する商品である電子レンジも一の商標登録出願の指定商品に含めて出願しましょう。」
- ウ 「名称Bについて商標登録を受けるためには、出願前に名称Bを使用していること又は少なくとも使用意思を有することが必要です。」

【第26回3級（管理業務）実技試験】

問21

ア～ウを比較して、著作権者の許諾を得るべき行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 彫刻を購入して、自宅の玄関にその彫刻を展示する行為
- イ 自分で使用するため、特許法の全条文を、そのまま丸ごとコピーする行為
- ウ 10年前にヒットした他人のバンドの曲を、観客から入場料を徴収してコンサートで演奏する行為

問22

ア～ウを比較して、意匠法上の保護対象である意匠として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 平面的な模様を有するTシャツ
- イ タワーマンション
- ウ 眼帯

問23

ア～ウを比較して、商標登録出願に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標登録出願に係る商標を「純正部品」とし、指定商品を「自動車の部品」として、商標登録出願をした場合には、登録を受けることができる。
- イ 商標登録出願に係る商標を「野菜」とし、指定商品を「きゅうり」として、商標登録出願をした場合には、登録を受けることができない。
- ウ 商標登録出願に係る商標を「あんぱん」とし、あんこが含まれないパンを指定商品として、商標登録出願をした場合には、登録を受けることができない。



【第26回3級（管理業務）実技試験】

問24

傘メーカーX社は、新商品である折り畳み可能な傘Aを販売しようとしている。ア～ウを比較して、X社の意匠登録出願に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 傘Aは、柄の部分に特徴があるが、柄の部分について意匠登録出願をすることはできない。
- イ 傘Aについて、意匠登録出願をした場合に、売行を考慮して、出願後登録前に、秘密請求をすることができる。
- ウ 傘Aは、開いた形状も折り畳んだ形状もそれぞれに特徴があるが、開いた形状を表す図面と折り畳んだ形状を表す図面の両方を用いて、一の意匠登録出願をすることができる。

問25

X社は、リンゴの品種Aについて品種登録を受けた。ア～ウを比較して、育成者権に関するX社の担当者の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「X社は、無断で品種Aを生産する者に対して、損害賠償を請求できる場合があります。」
- イ 「X社は、品種Aの育成者権を他者に譲渡することができます。」
- ウ 「品種Aの育成者権の存続期間は、品種Aの品種登録出願の日から30年間です。」

問26

自転車メーカーX社の知的財産部の部員甲は、開発者乙とともに新たに販売を開始しようとしている製品Aについて特許調査をした。その結果、製品Aが、自転車メーカーY社の特許権Pを侵害している可能性が高いことを発見した。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許権Pは5年ほど前に設定登録がされており、Y社は特許権Pを使用していると思われる製品を現在も販売しているので、特許権Pの存在の有無を特許原簿により確認する必要は特にありません。」
- イ 「Y社から特許権Pを侵害する旨の警告が来ているわけではありませんので、とりあえずY社から警告が来る前になるべく早く製品Aの販売を開始しましょう。」
- ウ 「特許権Pの出願日において、既にわが社では製品Aの生産の準備をしていたことを客観的に証明できますので、製品Aの販売を開始しても問題はなさそうです。」

【第26回3級（管理業務）実技試験】

4 問27に答えなさい。

問27

甲は、平成29年1月20日に特許出願Aをした。特許出願Aについての出願審査請求の最終日が属するのは平成何年何月になるか求めて、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

5 次の会話は、X社の知的財産部の部員甲が商標権の侵害として警告を受けた場合の措置に関して、従業員乙に説明しているものである。問28～問30に答えなさい。

乙 「商標権の侵害の警告を受けた場合には、どうしたらいいですか。」

甲 「差止請求等を免れることができるかを検討する必要があります。」

乙 「具体的には、どういうことですか。」

甲 「例えば、商標登録が、不適法に登録された場合には、商標登録の 1 審判を請求する措置をとることができます。」

乙 「誰が 1 審判を請求できますか。」

甲 「 2 請求することができます。」

乙 「いつでも 1 審判を請求できますか。」

甲 「 3 から5年を経過すると請求できなくなる場合もあるので注意する必要があります。」

問28

空欄 1 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄 2 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄 3 に入る最も適切な語句を【語群Ⅲ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

【語群Ⅲ】

商標権の設定登録日	出願人に限り	利害関係人に限り	
無効	何人でも	取消	出願日

**【3級実技】**

**番号 正解**

問1 ×

問2 ウ

問3 ×

問4 ウ

問5 ○

問6 ア

問7 ○

問8 ウ

問9 ×

問10 イ

問11 ○

問12 ア

問13 ウ

問14 イ

問15 ウ

問16 ウ

問17 イ

問18 イ

問19 イ

問20 ア

問21 ウ

問22 イ

問23 ア

問24 ア

問25 ウ

問26 ウ

問27 (平成)32(年)1(月)

問28 無効

問29 利害関係人に限り

問30 商標権の設定登録日